

②農村計画学会 2015 年度春期大会学術研究発表会（ポスターセッション）プログラム

研究委員会

（注：各セッションの進め方はコーディネーターに一任しています。1 題あたり 10 分を想定し、本年度はさらにセッションあたり 10 分を加えた時間配分を行いました。6 つのセッションの発表時間は前半（A, B, C）と後半（D, E, F）に分かれています。それぞれの時間帯に、発表者はポスターの前で発表を行い、質疑応答に対応してください。）

A. 農村空間のデザイン（9：00～9：50）

コーディネーター 斎尾直子（東京工業大学）

a 1. 中国の農村空間が果たす環境教育的意義に関する一考察

—大学生に対するアンケート調査を通じて—

○原 裕太（京都大学大学院），湯 傑仁，浅野悟史，西前 出

a 2. 農村の多様な空間利用による環境資源の創出

—那珂川町小砂地区の「日本で最も美しい村連合」加盟を契機とする事例—

○大澤啓志（日本大学），七海絵里香，島本大輝

a 3. 殖州区画における土地利用の変遷

—北海道の農村住宅・農業施設のオープン化に関する基礎的研究—

○菊地翔貴（北海道大学大学院），野村理恵，森 傑

a 4. 住民主体の“建築・まちづくり協定”による住宅地環境計画と共同発注方式での住宅再建

—岩手県大船渡市末崎町碁石地区への支援活動を通じて 2—

○藤沢直樹（日本大学），糸長浩司，西本尚人

B. 農山村とエネルギー（9：00～9：50）

コーディネーター 清水夏樹（京都大学）

b 1. 除染作業中の地域におけるバイオマス利活用による農業再生方策の検討

○柚山義人（農研機構農村工学研究所），山岡 賢，折立文子

b 2. 藻類オイル生産の農村地域への貢献について

—藻類残渣のペレット化によるローカルエネルギー生産—

○山岡 賢（農研機構農村工業研究所），島田 敏，出村幹英，柚山義人，折立文子

b 3. 農山村地域の住宅に設置する太陽光発電設備の導入ポテンシャル推計と自給可能性

—山梨県 T 市における推計及び現地調査—

○劉 珂彬（茨城大学），小林 久，白波瀬京子

b 4. 都市近郊農地へのソーラーシェアリング導入プロセスの解明及び課題に関する研究

○森本英嗣（東京理科大学），瀧澤佳奈子，新井 健

C. 農林業の再生 (9:00～9:50)

コーディネーター 山下良平 (石川県立大学)

c 1. ベトナム農村における有畜複合農業の実態と家畜導入支援の課題

○時任美乃理 (京都大学大学院), 西前 出, 浅野悟史

c 2. 農業への企業参入が地域農業に与える影響

—埼玉県羽生市を事例として—

○古田恒平 (明治大学大学院), 服部俊宏

c 3. シカ食害下におけるブナ科落葉樹伐採株の枯死プロセスの分析

—持続可能なシイタケ原木林利用に向けて—

○浅野悟史 (京都大学大学院), 西前 出

c 4. 森林環境税を活用した樹林地管理事業の運用実態と課題

—茨城県「身近なみどり整備推進事業」を事例に—

○荒井智晟 (筑波大学), 土屋一彬, 村上暁信

D. 農村の土地利用 (10:00～10:50)

コーディネーター 九鬼康彰 (岡山大学)

d 1. 国営かんがい排水事業の地域農業への影響評価

—空間ダービンモデルの適用—

○中嶋晋作 (明治大学), 菊島良介

d 2. 福島県川俣町山木屋地区における里山の変遷と原発事故による人と自然の分断

○佐藤 周 (千葉大学大学院), 濱 侃, 近藤昭彦

d 3. フードシステムの空間分析にもとづく都市農村融合戦略の検討

—バンコク首都圏近郊地域を事例に—

○土屋一彬 (東京大学大学院), 原 祐二, タイタークダナイ

d 4. 都市農村交流の持続性からみたインバウンドツーリズムの可能性

—群馬県みなかみ町「たくみの里」を事例として—

○田中沙知 (東京農工大学大学院), 中島正裕

E. 災害からの復興 (10:00～11:00)

コーディネーター 牧山正男 (茨城大学)

e 1. 大災害後に発生する空閑地の把握と地域資源としての活用

—竜巻被災地・つくば市北条地区での実践—

○山本幸子 (筑波大学), 雨宮 護, 田野井雄吾, プーア・イーエマル, 石村 匠, 小川恭平, 下田春菜, 中村 江, 柳澤直哉

- e 2. 福島県飯館村避難者の営農再開経緯と地域との関わりについて
○齋藤朱未（明治大学研究・知財戦略機構），服部俊宏，八鍬友里
- e 3. 津波被災地の復興圃場整備における住民組織の役割と関係性に関する研究
―宮城県東松島市大曲地区を事例として―
○戸嶋佑希（東京農工大学），中島正裕，栞原良樹
- e 4. 東日本大震災の復興過程における農業者の生活変化と支援
―宮城県岩沼市玉浦地区の事例を中心に―
○望月美希（東京大学大学院）
- e 5. 小規模漁村の東日本大震災からの復興における漁業協同組合の役割
―釜石市半島部漁村における検討―
○秋吉 恵（早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンター）

F. 地域の発展を担う人々・コミュニティ（10：00～11：10）

コーディネーター 重岡徹（農研機構農村工学研究所）

- f 1. 持続的な農業と福祉の連携のためのネットワークづくりと地域の活性化
―神戸市北区の事例から―
○片山千栄（農研機構農村工学研究所），石田憲治，鬼丸竜治
- f 2. 外来者から地域づくり主体への変容過程に関する研究
―リゾートで形づくられたインフォーマルなコミュニティへの注目―
○佐藤志穂（北海道大学大学院），山中康裕，敷田麻実
- f 3. 地域個性を活かした地域食生活再生マネジメント
―千葉県鴨川市を実証対象事例地として―
○千葉いずみ（日本大学生），糸長浩司
- f 4. 淡路島における着地型観光まちづくりの提案
○投石真義（慶應義塾大学大学院）
- f 5. 合併後における市町村行政と地域コミュニティの関係の再構築に向けた課題
―岩手県花巻市を事例として―
○役重眞喜子（岩手大学大学院），広田純一
- f 6. 仮設住宅団地における住民組織の機能の解明
―東日本大震災における宮城県石巻市内の仮設住宅団地を事例に―
○塩田 光（東京農工大学大学院），中島正裕

注：○印は発表者を意味します。